

ただいまー

はあ…

夏ももう
終わりだっ
てんの

早くシャワー
浴びて涼みたい
とこだけど

むん

むん

むん

むん

ほかっ

その前に…

なんでこんなに
暑いのか…

というか
なんでこんな日に
練習試合なんて
やるのか…

むわっ

むわっ

ばっ

ぬきっ

うー
もう汗
びとびと…

いっわっ

やっと起きた？

ずっと動かないから
てっきり死んじゃった
のかと思った

ふふっ
困惑してるー

自分がどこにいるかも
分かってないのかな

むわっ

むわっ

…じゃあ
こうすれば
分かるよね

むわっ

むわっ

むわっ

むわっ

ほら
ぎゅーっ♡

みちっ

みちっ

むわっ

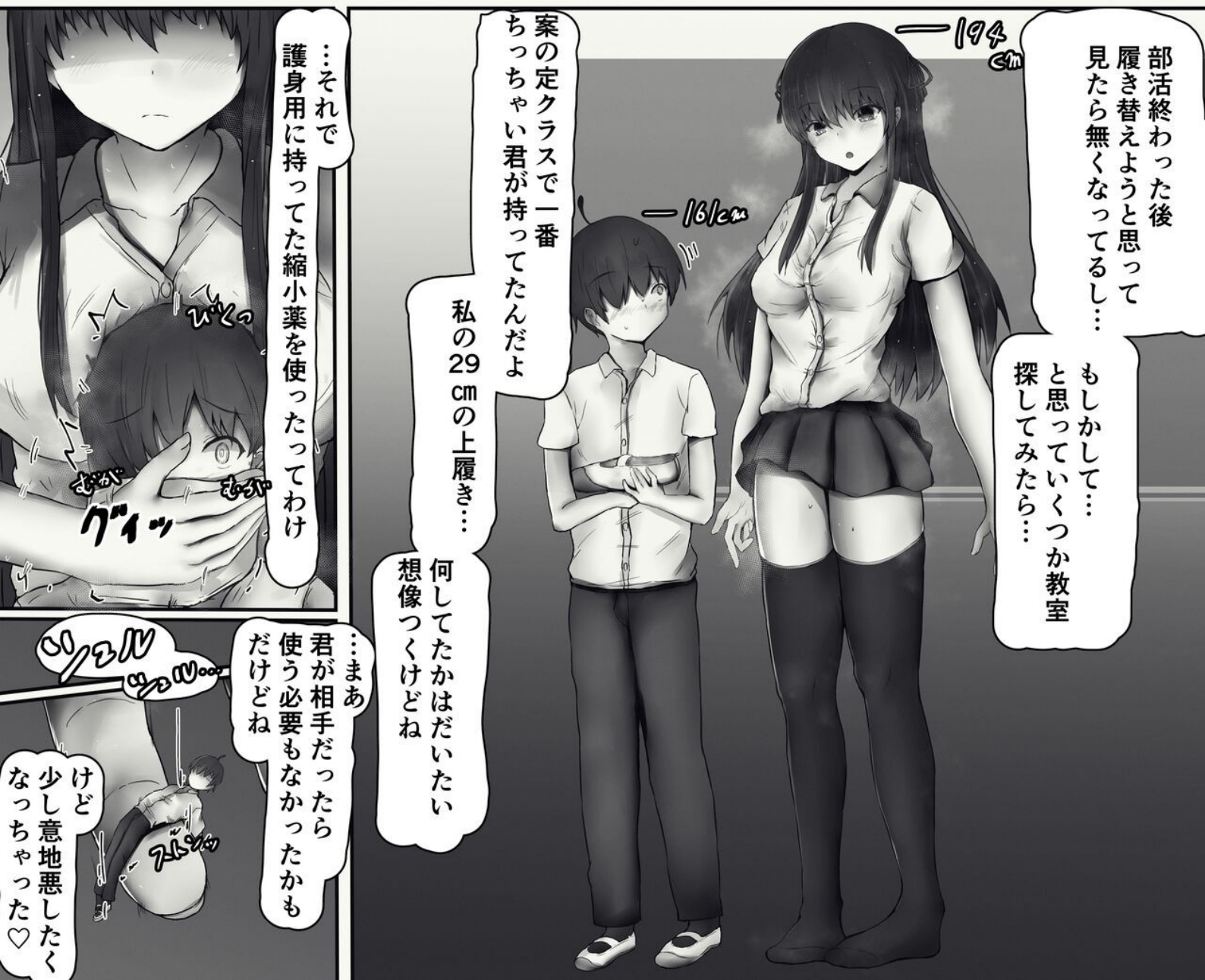
むわっ

あはっ
暴れてる

みちっ

ちよっと
くすぐったいかも♡

むわっ



ねえねえ
私の上履きの匂い…
どうだったの？

わたし背も高いし
足もおっきいから

そんなに良い匂い
はしないと
思うんだけど…

あっ…
もしかして君
そっちの匂いの
方が好きな人？

ふふっ
図星みたいだね
じゃあ…

足の匂いだけじゃなくて
こっちの方も好きだったりするよね♡

なんか君のお腹の下の辺
硬くなってるんだけど…

ふふっ
やっぱり好きなんだね…
それじゃあいくよー♡

ゲツッ

むわっ

もちゅ

むにゅ



ふふっ
どうかな…?

いっばい走ったから
けっこう蒸れちゃって
と思うけど

むわっ

ふふ

ふふ



うあ…



もっと
近づけてあげるね

むわっ

ふふっ
息が
こそばゆいよ

いっわ



えいっ

あはっ
ちよっと
くすぐったいかも♡

むわっ

ぐわー

ぐわー



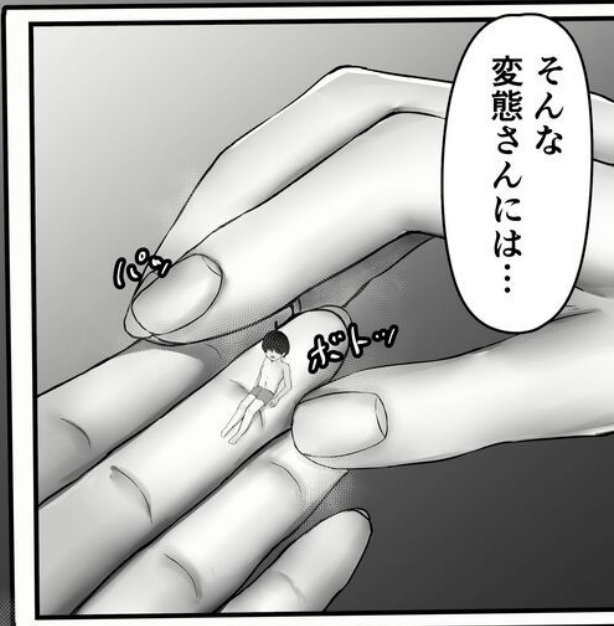
ねえねえ…
君のお腹の下…
さっきより硬くなってるよ

むわっ

腋の匂いで
興奮しちゃってるんだ…

やっぱり君
変態さんだね











いじめて
あげるね

むわっ...

むわっ



今度は
こっちで

むわっ

はっ

ムン

ムン



胸の下って
すっごく汗かくんだよね

むわっ

君は知らないと
思うけど

ムン

ムン





あははっ
いい感じに
滑りやすくなった



ふふっ
もう全身
胸汗まみれだね



当然
道具として
だけど



決めた



君今日から
私の玩具になってよ

それか下僕

下僕が何をするかは
これから教えてあげる



んっ
ちよっと
気持ちいいかも

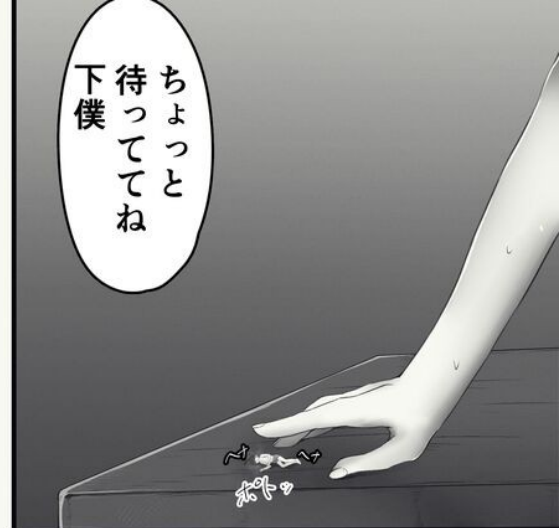
変態もちよっとは
いいところあるじゃん



殺しはしないけど

なんてね

さすがに
面倒なことに
なっちゃうから



ちよっと
待っててね
下僕



おとなしく
してない



でも

毛ゆん



ほんとに
潰しちゃうかも

むわあ



その間
たっぷり
いたぶってあげる

むわ

せっかくだし
しばらく
軟禁するくらいなら
いいよね

さあ

ちよこん



ん？

意外と
大人しくしてるんだね

もしかして
本当に潰されちゃうかと
思った？

それとも
そんなに私のことが
見たいの？

むわっ

むわっ

ちよ



あはっ

ねえねえ
今どんな気分？

むわっ

パンツとブルマに
挟まれて

グググ

無理やり
におい
嗅がされてるんだよ？

グググ

グググ

グググ

みち、

みち、

グググ

むわっ

でも
君はこれが
好きなんだよね

次は
君の大好きな
足で遊んであげるね

ギュ

みち、

みち、

むわっ

ふふっ...



こうして見ると



ほんと
ちっちゃいんだね

むわっ



足の小指くらいかな？



ほらほら
君の大好きな足だぞー

むわあ



むわ



変態の君ならむしろ
こっちのほうがいいよね



でも



ほらどう？

一日中履いたニーソのにおい

相当ヤバいと思うんだけど…



どう？
私の足裏

むわ

その気になったら
君なんてひと踏みで
ぺしゃんこなんだよー



フッ

むわ







両足裏でかざしちゃうと
空一面ニーソって感じだよな

むわっ

むわっ

むん

ふふっ
このまま下ろして
あげよっか？

むわっ

でも…
ちよっと
面白くないなあ

むわっ

むわっ



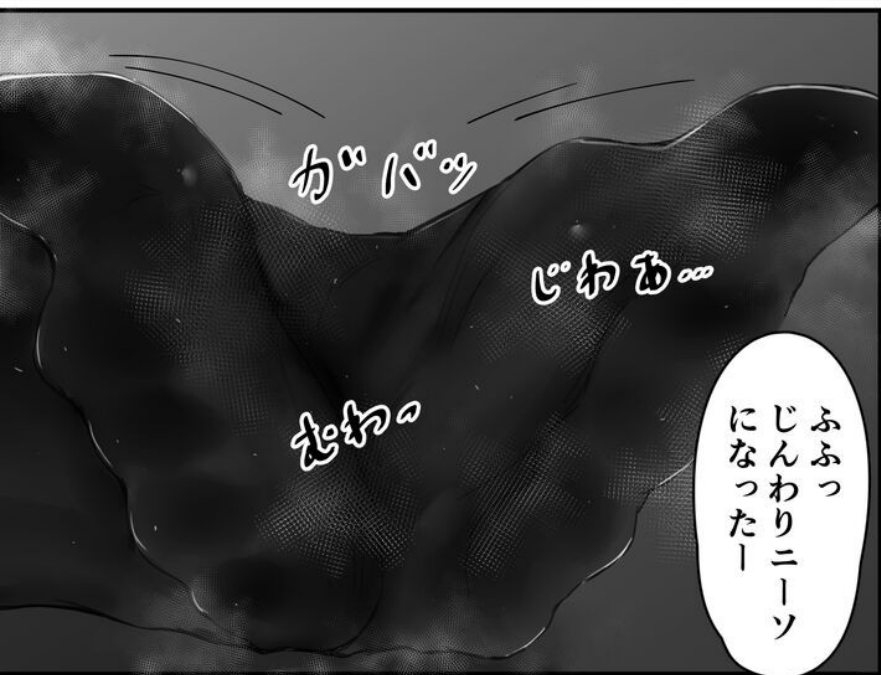
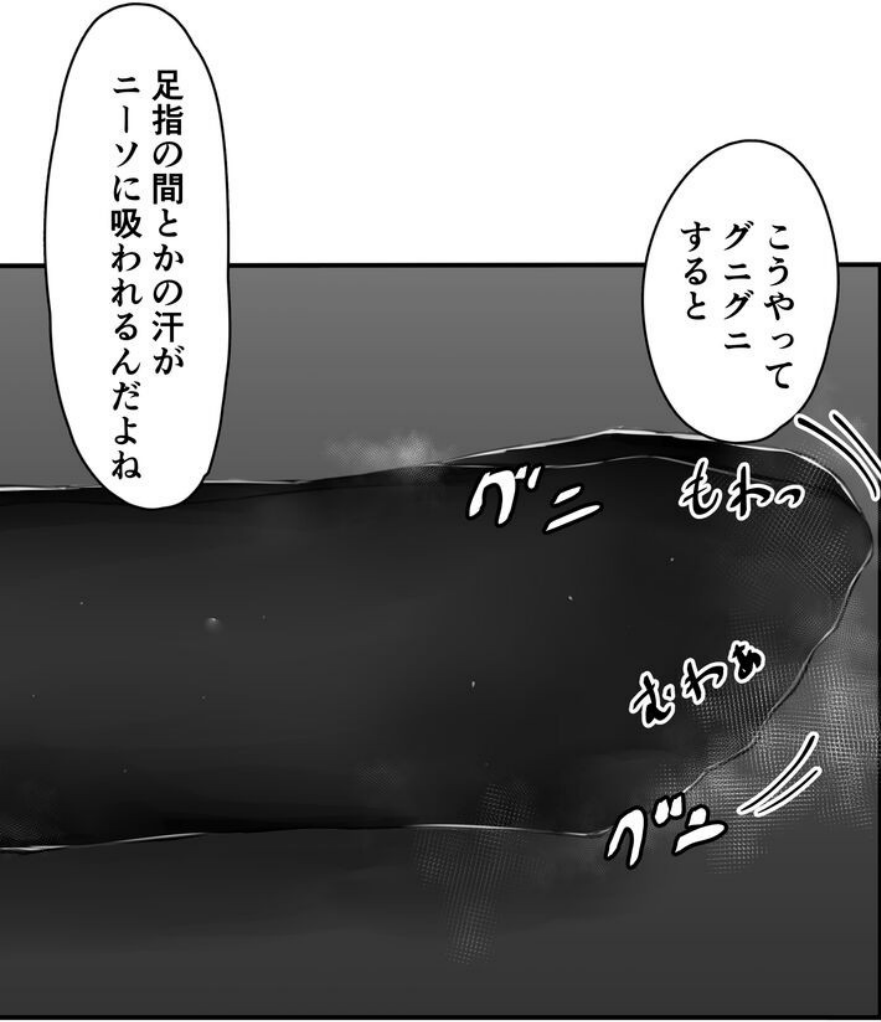
そうだ



面白そうなこと
思いついた♪

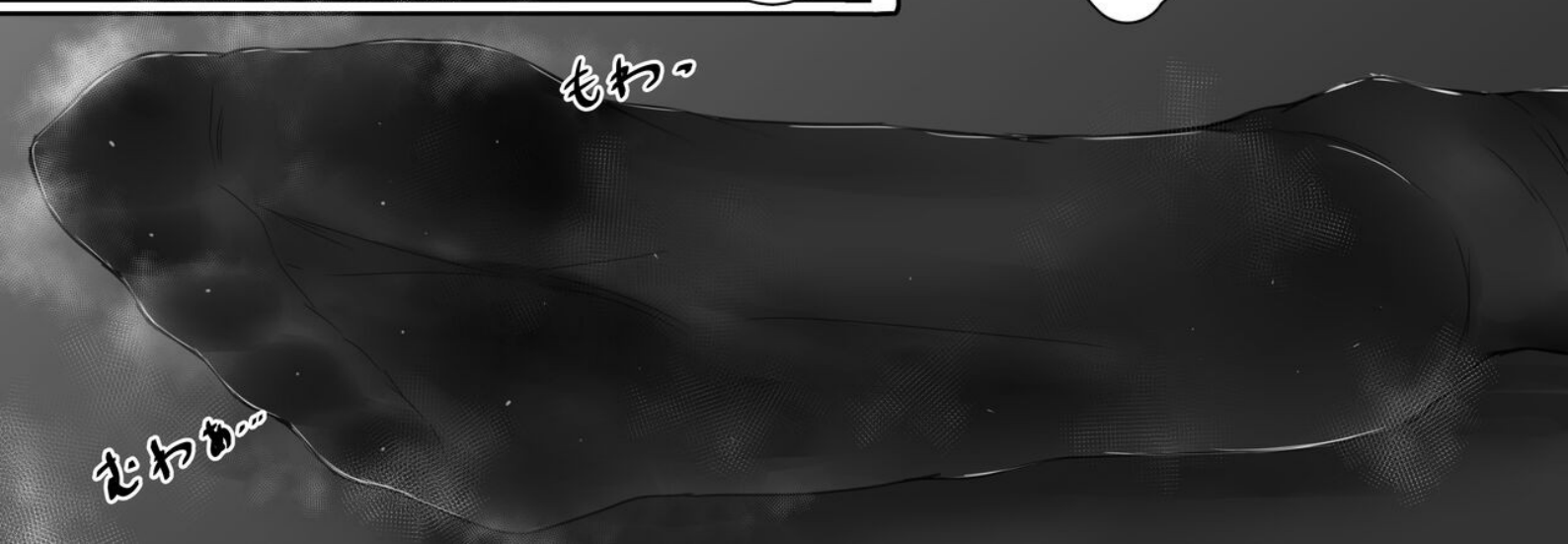
これで…

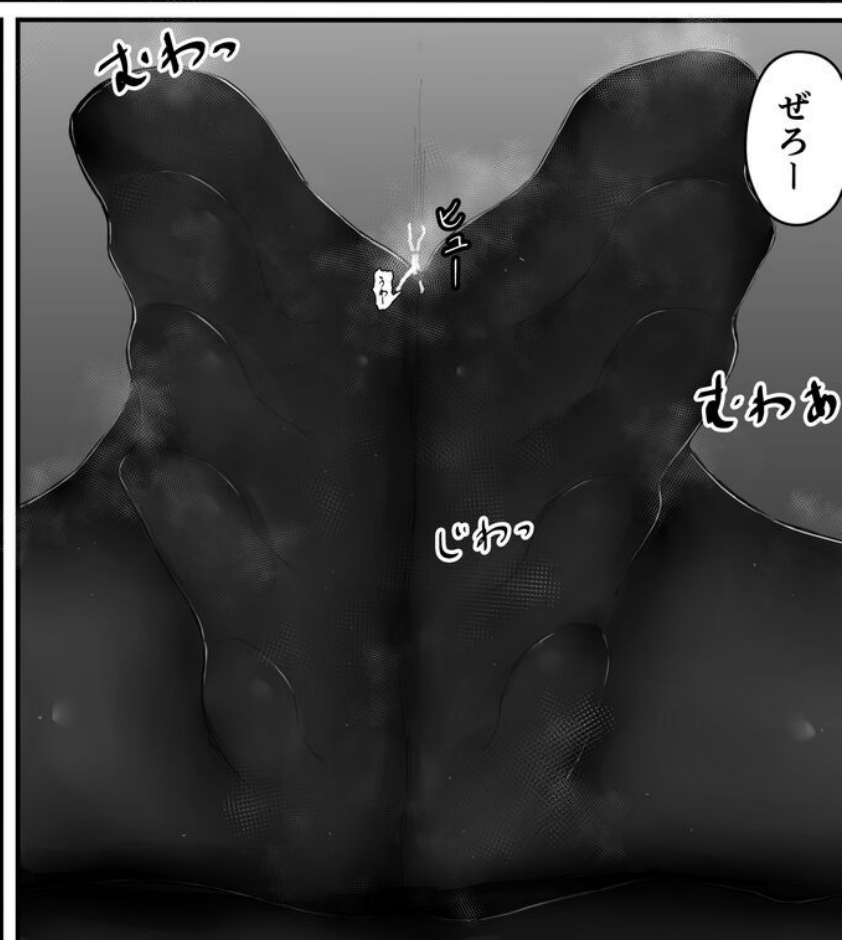
こうやって
グニグニ
すると



ふふっ
じんわりニーソ
になったー

足指の間とかの汗が
ニーソに吸われるんだよね









体育に部活で頑張ったんだから
少しくらい
においはするもん…

でも他人からはっきり
言われると
あまり気分はよくないなあ

しかも
私より貧弱な君に
言われると尚更…

むわっ

もわっ

ほかっ

今の君は私の足指より
小さいんだよ？
分らないの？

むわっ ぐわっ

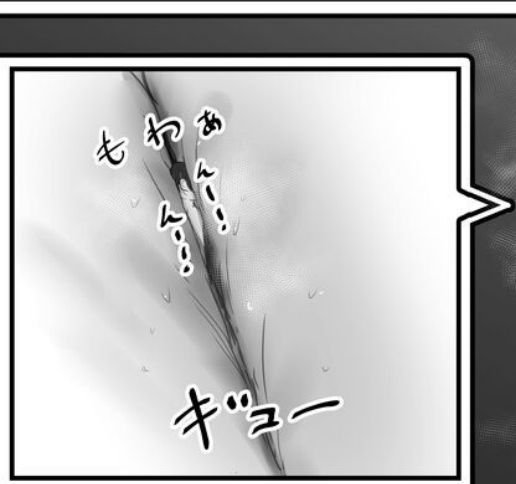
…少しおしおきして
分らせてあげるよ



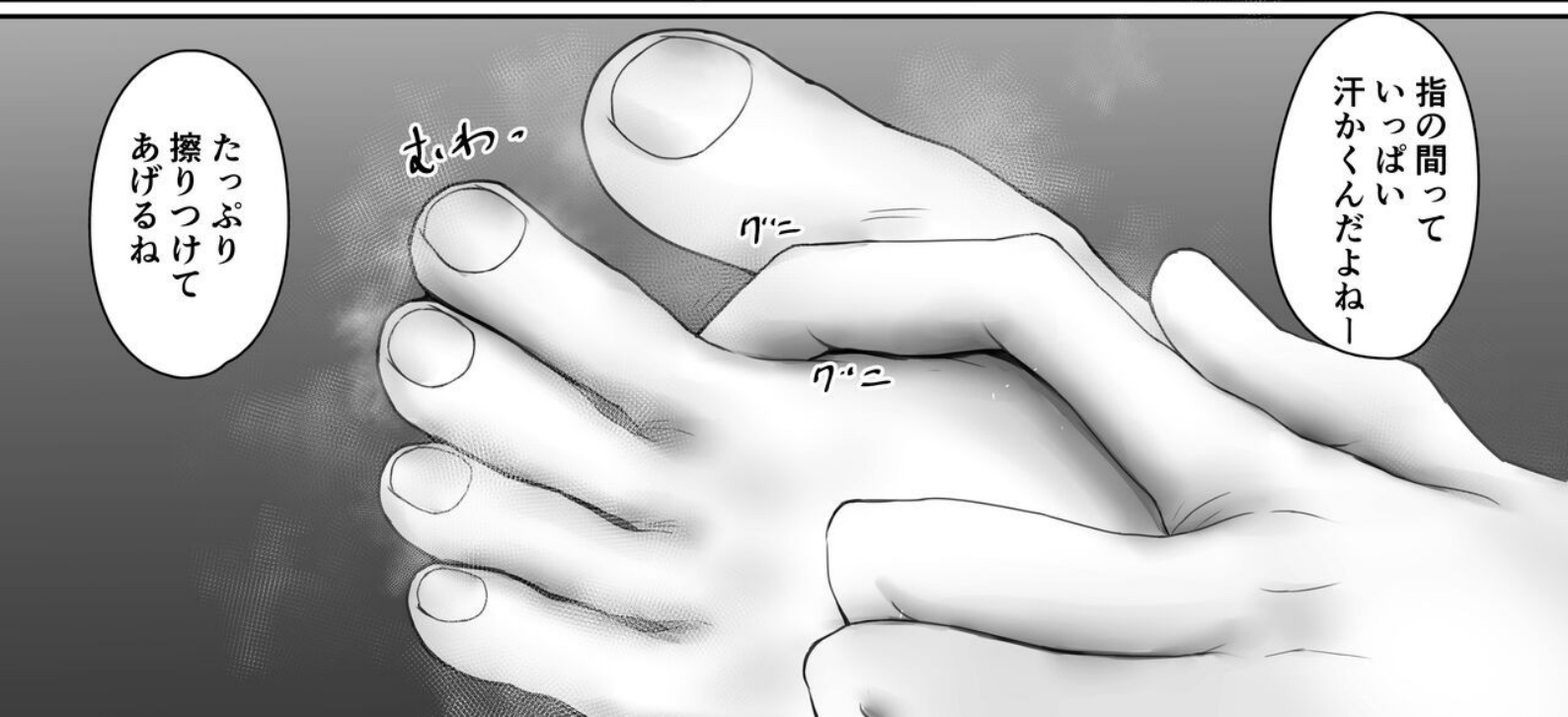
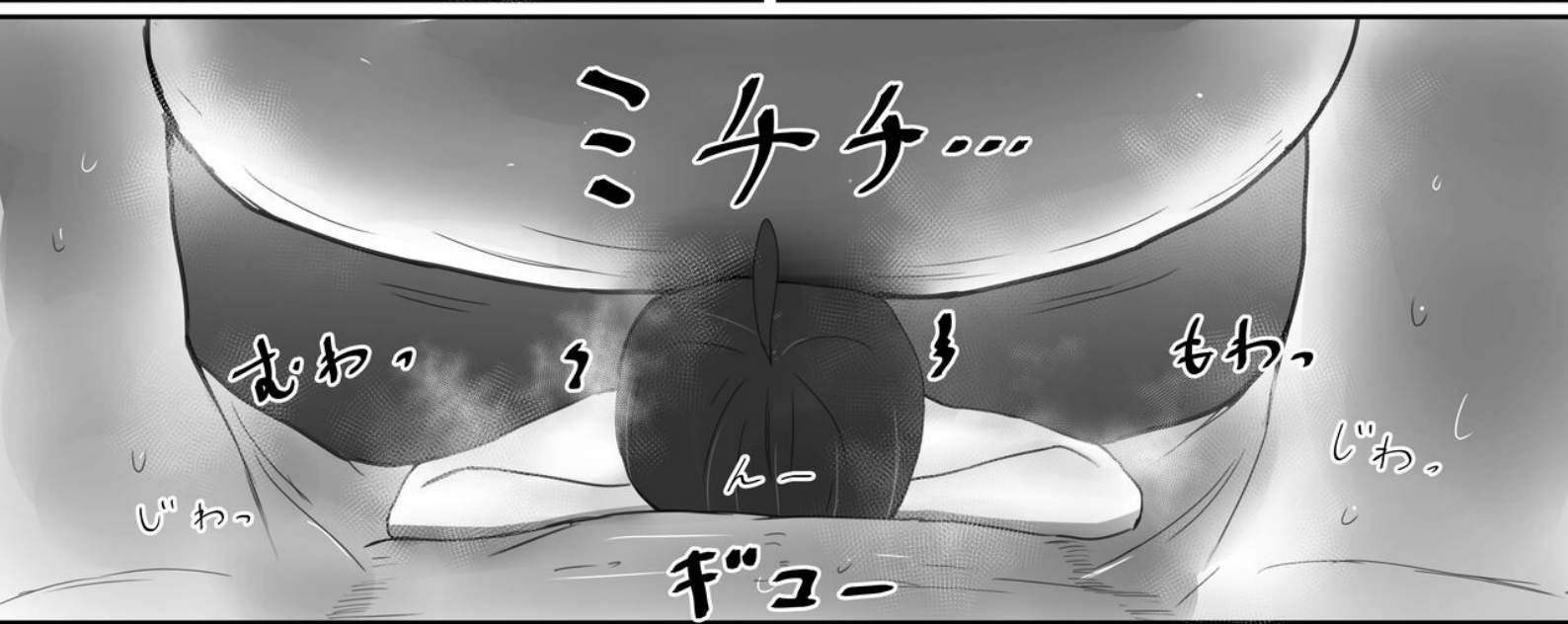
このまま
指の間で...



挟んであげるよ



あはっ
すぐプチってなりそう



たっぷり
擦りつけて
あげるね

指の間って
いっぱい
汗かくんだよねー

ほら
逃げたかったら
逃げてみなよ

無理に決まってるもん
自分がどれだけ弱い
これで分かったよね

むわっ

もわっ
もわっ

もわっ

もわっ

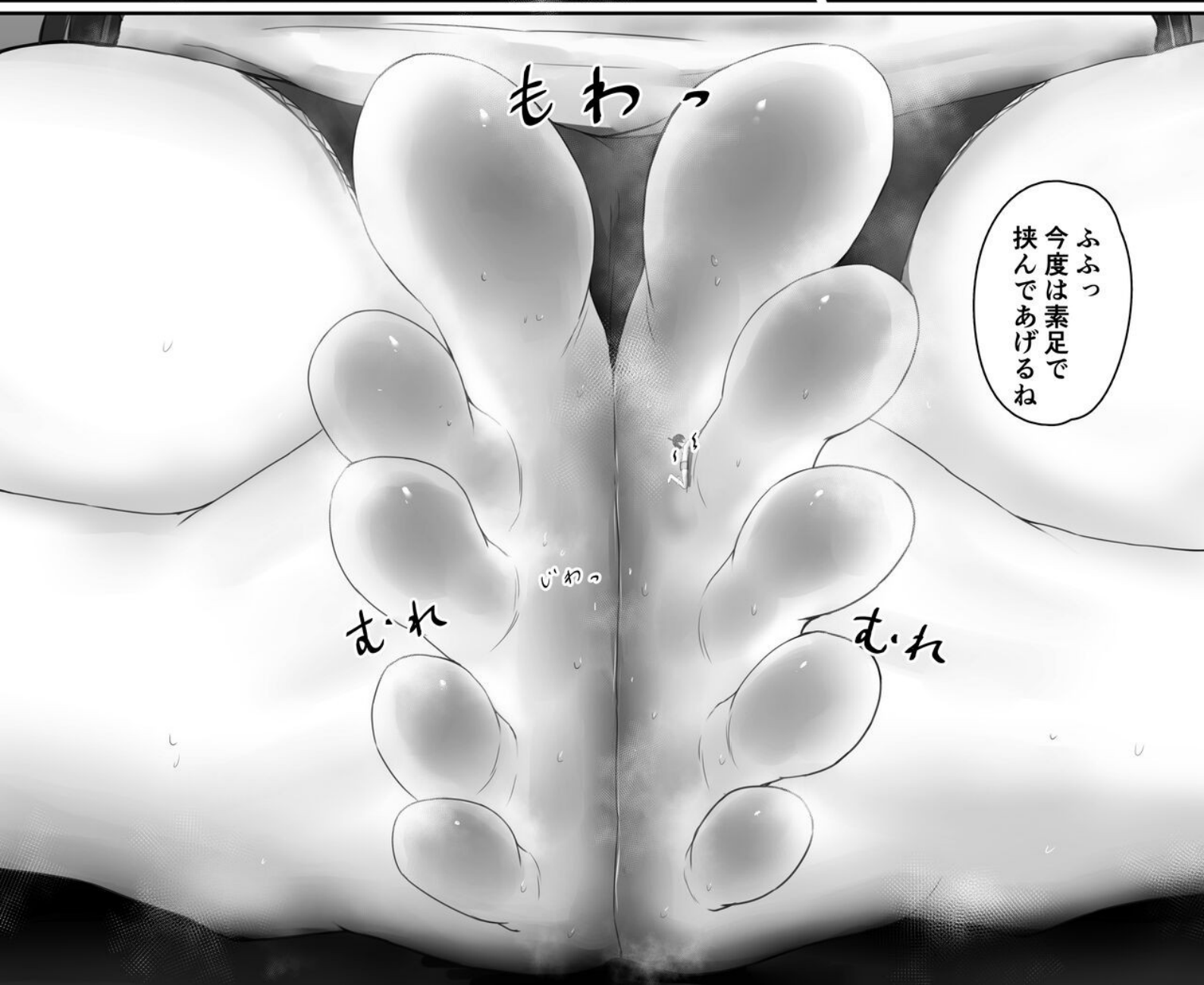
んんん



振り落とされちゃうよー



ほら
しっかり
掴まってないと



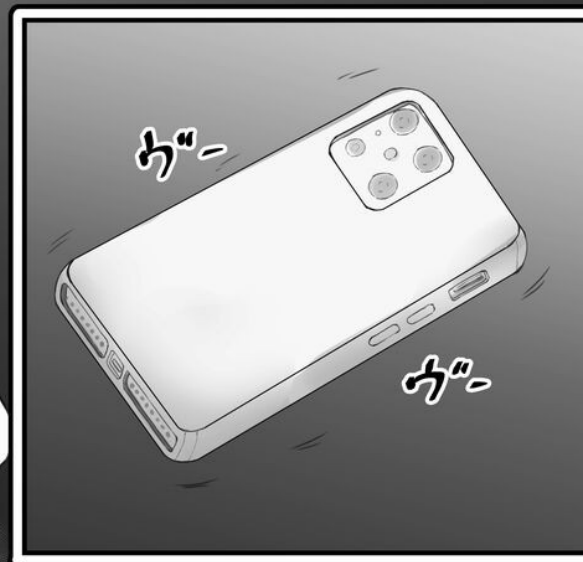
ふふっ
今度は素足で
挟んであげるね

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ





…まさか見られてるとはね
あの子で良かったけど



ほら
きみも行くよ



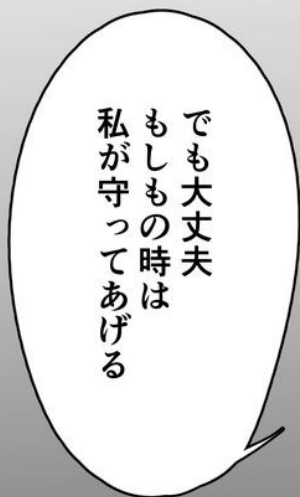
どうせ連れて来って
後で言うんだろうし



優璃音とともに相手したら
たぶん死んじゃうと思うけど



でも大丈夫
もしもの時は
私が守ってあげる





まだ少し
蒸し暑いね…

だいぶ
日が落ちてきたけど

夏も終わりかな…